

佐佐木信綱記念館 企画展 「詩歌・文学と挿画 佐佐木信綱と津上みゆき」について

佐佐木信綱記念館は、歌人・国文学者である佐佐木信綱の功績を、常設展・特別展をとおして紹介してきました。今回は、信綱が6～11歳まで過ごした松阪市にあるサイトウミュージアムから展覧会「津上みゆき展 View—人と風景と」との連携展示の提案をいただき、企画展『詩歌・文学と挿画 佐佐木信綱と津上みゆき』を開催いたします。

1 開催期間

令和7年10月24日（金）～令和8年1月18日（日）

開館 10:00／閉館 16:00

休館日：月・火・第3水曜日（但し祝日の場合は翌日）、12月28日（日）～1月6日（火）

入館無料

2 会 場

佐佐木信綱記念館 1F 展示室

〒513-0012 三重県鈴鹿市石薬師町 1707 - 3

TEL・FAX 059-374-3140

3 企画展内容

本展では、当館所蔵資料の信綱の歌集や随筆、原稿などの文学資料と、現代の画家・津上みゆきの風景画やスケッチ、挿画を並置して紹介します。一見、異なる領域に思える〈文学と美術〉と〈詩歌と絵〉ですが、そこには、風景を見つめ、記憶をたどり、心の内を形にしようとする営みが共通して感じられます。時代を越え、二人の表現を通じて、「言葉」と「画」、「記憶」と「風景」が織りなす、新たな詩画空間をお楽しみいただければと思います。

信綱の資料としては、「凌寒荘残簡」より自筆校正入りの原稿、本展に際して描いた津上みゆきの新作、「熱海 凌寒荘にて」「蒲冠者範頼之社（御曹司社）」「石薬師」「蒲桜」の4点は、初公開となります。

4 展示構成（主な作品等） ★印は初めての展示

信綱資料・作品

・歌集、随筆集

★りょうかんそうざんかん凌寒荘残簡より自筆校正入りの原稿・草稿

★短歌雑誌『心の花』700号と表紙の原画及びカット（島春潮画）

・「歌のみなもとと歌のころ」の折本

津上みゆき作品

・風景画、スケッチブックなど

・日本経済新聞夕刊 連載小説 朝井リョウ著「イン・ザ・メガチャーチ」の挿画

・朝日新聞「俳壇・歌壇」の挿画

★新作「熱海りょうかんそう 凌寒荘にて」「蒲冠者かむのかむかむのりよりのやしる範頼之社（御曹子社）」「石薬師」「蒲桜」の4点

5 トークイベント

津上みゆきさんをお招きし、本展作品についてお話しいただきます。

日時：令和7年10月24日（金）13時30分～1時間程度 ※無料・申込不要

会場：佐佐木信綱記念館 1F 展示室

6 その他

津上みゆき展「View-人と風景と」

会期：令和7年10月24日（金）～令和8年3月8日（日）

開館 10:00／閉館 17:00

開館日：金・土・日 ※令和7年12月29日（月）～令和8年1月3日（土）は休館日

会場：サイトウミュージアム（松阪市魚町1807-1・TEL 0598-21-1111）

7 主 催 鈴鹿市

企画協力 サイトウミュージアム、ANOMALY

【問合せ】 鈴鹿市文化スポーツ部 文化財課長 大窪

文化財課 学芸員 田中（展示担当者）

電話 059-382-9031